

中国経済経営学会

2018年度全国大会プログラム

1. 大会概要

開催日：2018年11月24日(土)、25日(日)

会場：大東文化大学板橋キャンパス1号館

主催：中国経済経営学会

運営委員会：内藤二郎(大東文化大学・実行委員長)、岡本信広(大東文化大学・実行委員)、森路未央(大東文化大学・実行委員)、渡邊真理子(学習院大学・プログラム委員)、唐成(中央大学・プログラム委員)、苑志佳(立正大学・プログラム委員)、馬欣欣(一橋大学・プログラム委員)

連絡先：〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

大東文化大学経済学部 内藤二郎研究室

E-mail: jacem2018@gmail.com

アクセス：<http://www.daito.ac.jp/access/itabashi.html>

諸費用：参加費1,000円、懇親会費4,000円(ただし正会員(減額)会員は3,000円)

* 事前支払いの方は2割引きになります(詳細は別紙をご覧ください)。

1日目(11月24日)スケジュール

10:00- 受付開始(1号館エントランス)

10:30-12:30 分科会1(10201)、自由論題報告A(10202)

12:30-13:30 昼休み

13:30-15:30 共通論題「中国経済の対外開放の新局面/改革・開放40周年」(報告)
(10202教室)

15:40-16:50 共通論題「中国経済の対外開放の新局面/改革・開放40周年」(パネルディスカッション)(10202教室)

17:00-18:30 懇親会(地下生協食堂)

2日目(11月25日)スケジュール

09:00- 受付開始(1号館エントランス)

09:30-11:30 分科会2(10101)、分科会3(10102)、自由論題報告B(10201)、自由論題報告C(10202)

11:30-13:30 昼休み、理事会(10420)

13:30-14:00 会員総会(10202)

2. 共通論題「中国経済の対外開放の新局面／改革・開放40周年」

会場:10202教室

日時:11月24日(土) 13:30-15:30、15:40-16:50

【趣旨】

2014年習近平総書記による「一帯一路」イニシアチブをはじめ、AIIBの提案など、中国の対外開放政策は新たな局面に入りつつある。一方で、2017年1月トランプ政権の誕生とともに、中国とアメリカの関係の枠組みが大きく変化し、貿易を中心として大きな対立状況にある。

改革・開放40周年の今、中国が世界に与える影響を考察する上で、中国の対外開放政策を現時点で把握する必要があるといえよう。

第1部では、3人の専門家から、「一帯一路」という新たな対外開放戦略、AIIBや人民元の今後など金融面での対外開放、そして中国の対世界(米国)貿易の動向を振り返る。

第2部では、パネルディスカッションとして、フロアとともに今後の中国の対外開放を展望する。

【登壇者】

司会 内藤二郎(大東文化大学)

第1部 報告

スピーカー1 新対外開放戦略としての一帯一路

大西康雄 上席主任調査研究員(日本貿易振興機構アジア経済研究所
新領域研究センター)

スピーカー2 中国金融市場の対外開放と”走出去”

岡崎久実子 研究主幹(キャノングローバル戦略研究所 CIGS)

スピーカー3 「対外開放」はどこに向かうのか

遊川和郎 教授(亜細亜大学アジア研究所)

第2部 パネルディスカッション

総合コメント: 関志雄 シニアフェロー(野村資本市場研究所)

登壇者からのリプライ

Q&A

3. 分科会

分科会1:「過剰能力削減政策は市場競争の質を向上させるか」

(24日10:30-12:30、10201教室)

報告者1 渡邊真理子(学習院大学)

「中国鉄鋼業における過剰能力問題と国有企業のソフトな予算制約:何が問題か」

報告者2 堀井伸浩(九州大学)

「中国石炭産業における過剰生産能力解消(「去産能」)政策の成果とその評価」

報告者3 李捷生(大阪市立大学)

「過剰能力削減と地域経済—河北省武安市の事例を中心に—」

報告者4 銀迪(東北大・院生)・川端望(東北大学)

「中国鉄鋼業における過剰能力削減政策の進捗と展望—市場競争の質の視点から—」

司会: 川端望(東北大学)

討論: 中川涼司(立命館大学)、石上悦朗(福岡大学)

分科会2:「毛沢東時代の中国の経済制度と政策:現時点からの評価 (その2)」

(25日 9:30-11:30、10101教室)

報告者1 寶劔久俊(関西学院大学)

「生産費調査に基づく集団農業経営の考察」

報告者2 丸川知雄(東京大学)

「計画経済における「隷属」関係——上海小三線と上海市、安徽省」

報告者3 林幸司(成城大学)

「重慶の銀行家と1950年代」

司会 中兼和津次(東京大学・名誉教授)

討論: 杜進(拓殖大学)、羅歆鎮(東京経済大学)

分科会3:「「一帯一路」は中国地域経済にどのような影響を与えるのか？」

(25日9:30-11:30、10102教室)

報告者1 徐一睿(専修大学)

「中国におけるインフラ整備の地域的進展一帯一路政策がもたらす影響」

報告者2 町田俊彦(専修大学名誉教授)

「地方税収入の地域格差の再拡大・財政調整機能の限界と改革提案」

報告者3 朱永浩(福島大学)

「一帯一路」の進展と「海運強国」への道

報告者4 南川高範(環日本海経済研究所)

「「一帯一路」が変える中国地方経済の将来の姿—河南省を事例とした経済効果のシミュレーション—」

司会・討論 岡本信広(大東文化大学)

4. 自由論題報告

自由論題報告A「労働1」(24日10:30-12:30、10202教室)

座長: 劉徳強(京都大学)

報告1: 村上直樹(日本大学)

「中原(河南省)農村部における職業選択としての自営業」

討論: 馬欣欣(一橋大学)

報告2: 劉岱寧(河南大学)

「河南省新型城鎮中労働力転移問題研究」

討論: 劉徳強(京都大学)

報告3: 安田知絵(江戸川大学)

「中国におけるGTI関連諸国との交通インフラ連携に関する考察」
討論:朱永浩(福島大学)

自由論題報告B「企業、マクロ、金融」(25日9:30-11:30、10201教室)

座長:服部健治(中央大学ビジネススクール・フェロー)

報告1:高村幸典(桃山学院大学)

「中国におけるEVと環境問題」

討論:高田誠(明海大学)

報告2:齋藤幸則(桃山学院大学)

「中国進出日系企業における経営現地化の阻害要因について」

討論:服部健治(中央大学ビジネススクール・フェロー)

報告3:王芳(北京国家会計学院)

「The Determinants of Securitization Usage: Empirical Evidence from Chinese Listed Companies」

討論:随清遠(横浜市立大学)

報告4:郭舸韜(滋賀大学大学院)

「為替相場制改革後の人民元の変動が中国の貿易収支への影響」

討論:張艶(明治学院大学)

自由論題報告C「労働2」(25日9:30-11:30、10202教室)

座長:巖善平(同志社大学)

報告1:王 威(法政大学大学院)

「中国農民工の医療保険加入に関する要因分析」

討論:沢田ゆかり(東京外国語大学)

報告2:小松 翔(東京大学大学院)・馬 欣欣(一橋大学)

「貴州省における都市・農村間所得格差の影響要因に関する研究」

討論:薛進軍(名古屋大学)

報告3:馬欣欣(一橋大学)

「Labor market segmentation by industry sectors and wage gaps

between migrants and local urban residents in urban China」

討論:巖善平(同志社大学)

5. 実行委員会からのお知らせ

- (1) 要旨集、参加者名簿、懇親会の準備、会場の設定のため、一斉メールに返信の形式で参加ご希望の分科会や懇親会の参加の有無をお知らせくださるようお願いいたします。
- (2) 懇親会の参加にあたっては別紙にある事前支払いをできるだけご利用ください。
- (3) 24日、25日の昼食について主催者側では、事前に用意いたしません。大学周辺にはコンビニや飲食店等がありますので、ご自分でお済ませになられるようお願いいたします。
- (4) 交通アクセスについて:都営三田線「西台」駅からですと、徒歩圏内(9分)です。東武東上線「東武練馬駅」ですと、大学のバス(無料)がご利用になれます。